

令和5年9月定例会議 一般質問

10 番議員 山下 純夫

町の発展に直結する開成駅の乗降客数増加策は

開成駅に急行が停車するようになり4年が経過した。

乗降客数は急行停車以前の2018年の11,414人から2019年に12,350人まで伸び、その後コロナの影響で減少、昨年は11,766人まで戻ったものの、コロナ前の状況には至っていない。このまま利用者の大幅増加が見込まれなければ、かつての様に開成駅を通過する快速急行が設定され、開成駅の利便性が低下する懸念もある。

また、現状では急行停車による利便性の向上は、新松田駅での乗り換え不要という個人レベルでのメリットに留まり、町の発展に十分繋がっていない。

今後の町の発展には民間の投資が不可欠であるが、駅の乗降客数は民間企業が投資先を決定する際の意思決定にも影響を与えられると思われる。そう考えると駅の乗降客数を増加させることが、町の発展にも寄与するはずである。

そこで町として乗降客数を増加させるためにどのようなことを考えているのかについて以下の3点を問う。

1. 開成駅に通じる移動手段、特に南北を結ぶ路線拡充の考えは。
2. 町民はもちろん、他の市町からの利用者也増加させるパーク＆ライド拡充に関する町の考えは。
3. 観光その他の乗降客数増加策は。